

共生

黒木隆之 書

2022.11
November
No.41

<巻頭言>

コロナ禍における高齢者施設の現状と老施協の取り組み

鹿児島県社会福祉法人経営者協議会 副会長 柿添 信義 <P2>

<報 告>

- 令和4年度 かごしまおもいやりネットワーク事業総会 <P2>
- 令和4年度 鹿児島県社会福祉法人経営者協議会総会 <P3>
- 令和4年度 総会時研修 <P3>
- 令和4年度鹿児島県経営協セミナー(前期) <P4>
- 県政要望にかかる自民党県連との意見交換会 <P5>

連載企画

学福連携プロジェクト アイユーカー バイ ケイエイキョウ IUK × 経営協 <P6>

～連載コーナーの開設にあたって～ 学校法人 津曲学園 鹿児島国際大学 学長 大久保 幸夫 氏

Vol.1『学福連携に期待すること』 鹿児島県社会福祉法人経営者協議会 会長 久木元 司

<寄稿文>

子どもの育ちを支えるために

社会福祉法人 向陽会 児童養護施設 たらちね学園 施設長 田中 博文 氏 <P7>

- かごしまおもいやりネットワーク事業加入案内・お知らせ <P8>



鹿児島県社会福祉法人経営者協議会



コロナ禍における高齢者施設の現状と老施協の取り組み

鹿児島県社会福祉法人経営者協議会 副会長 柿添 信義
(一般社団法人 鹿児島県老人福祉施設協議会 会長)

会員の皆様におかれましては、かねてより経営者協議会にご支援・ご協力を賜り感謝申し上げます。今回は私が会長を務める老施協会員施設を取り巻く近況や老施協の取り組みについてご紹介させていただきます。

新型コロナウイルスは依然として県内に猛威を振るい、施設入所のみならず通所系の事業所にも侵入してきております。第七波になり、特に鹿児島県においては毎日のように感染者が増加する状況となりました。さらに、死亡者数も増加傾向となり、我々高齢者をお預かりしている施設は毎日戦々恐々する中、何とか水際対策で阻止する状況が続いております。しかしながら、年齢に関係なく感染が広がり、職員の感染から施設・事業所に入り込んでしまうのが現状となっております。コロナ発生当初、入所者が感染した場合は医療機関への入院が原則となっていました。仮に施設で感染者が一人出たとすると、状況によっては異なるとは思いますが、念のため入所者及び職員のほとんどに抗原検査あるいはPCR検査を行うことになります。その他居室に入るための防護服やゴーグル及び手袋など一人ごとに交換しなければならず、かなりの経費がかかることは皆さんご存じのとおりです。そこで新型コロナウイルス感染拡大防止対策に要する経費等の支援である「地域医療介護総合確保基金」について少し説明したいと思います。



これは、団塊の世代が75歳以上となる2025年に向けて「効率的かつ質の高い医療提供体制の構築」「地域包括ケアシステムの構築」が急務の課題となる中、消費税増収分を活用し創設された基金です。財源の負担割合は国：3分の2、県：3分の1となっており、基金の対象事業は「介護施設の整備に関する事業」と「介護従事者の確保に関する事業」に分類されます。

施設整備として令和4年度予算には、地域密着型サービス施設等の整備や新型コロナウイルス感染拡大防止対策支援事業など15億7千8百万円が計上されています。また、人材確保に関しては、基本整備や参入促進及び労働環境・処遇の改善等に4億2千3百万円が計上されています。さらに、介護従事者の確保に関する令和4年度の主な新規事業として、外国人介護人材確保事業（介護特定技能外国人マッチング支援事業）に589万円が計上されています。詳しい事業内容は、鹿児島県ホームページに掲載されていますのでご参照ください。

その他にも、老施協では鹿児島県老人保健施設協会・日本認知症グループホーム協会との連名で「物価高騰に対する高齢者福祉・介護施設等への支援について」いわゆる「新型コロナウイルス感染症対応地方創成臨時交付金」の活用についての要望書を鹿児島県知事及び鹿児島県議会議長あてに提出致しました。

今後も入所者や施設の職員を守る取り組みを進めてまいります。

令和4年度 かがしまおもいやりネットワーク事業総会

5月26日（木）に令和4年度 かがしまおもいやりネットワーク事業総会を、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ソーシャルディスタンスを確保するとともに、マスク着用や手指消毒、検温等の予防策を講じ、鹿児島市内のホテルにおいてオンライン併用で開催しました。

久木元委員長の開会挨拶の後、事務局より令和3年度の事業実施状況及び決算状況について報告するとともに、令和4年度の事業計画及び収支予算、また新たに制定した規程について説明。

令和3年度末における加入法人数は105法人（施設経営法人：83法人、社会福祉協議会：22法人）で、現物給付支援金額は昨年度を上回る過去最高額となる415万4,247円（対前年度比：69万3,773円増）を記録するなど、昨年度に引き続き、かがしまおもいやりネットワーク事業へのニーズが大きく拡大しました。

令和4年度はさらに県内でネットワークの輪が拡大し、社会生活上で困りごとを抱えた方々への支援に貢献できるよう努めてまいりますので、今後ともかがしまおもいやりネットワーク事業へのご理解とご協力をお願いいたします。



挨拶：久木元委員長

令和4年度 鹿児島県社会福祉法人経営者協議会総会

5月26日(木)、かごしまおもいやりネットワーク事業総会に引き続き、同ホテルにおいて令和4年度 鹿児島県社会福祉法人経営者協議会総会をオンライン併用で開催しました。

出席法人数は179法人(うち委任状97法人)となり、会の成立を報告後、久木元会長が開会挨拶。その後、議長に建昌福祉会常務理事の池田秀之氏を選出され、池田氏より議事録署名人2名を指名いただいたあと、議事に入りました。

まず、令和3年度の事業報告については、県知事及び自民党県連への福祉施策に関する要望・提案、また第9回社会福祉法人経営者大会や県経営協セミナー等の実施状況、鹿児島国際大学との包括連携に関する協定に基づく連携状況等について報告。併せて、決算報告として当初予算27,606千円に対して、各事業の執行状況を説明のうえ、収入計26,897,163円、支出計18,119,786円の収支決算を報告し、事業報告とともに了承されました。

また、令和4年度の事業計画と収支予算についても、実施予定の各事業について説明を行うとともに、会則を含む諸規定の改正・制定・廃止についても現案どおり承認されました。

今年度も会員法人の運営力・経営力向上のために鋭意努めてまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

<議事一覧>

第1号議案	令和3年度事業報告について	第7号議案	会費規程の改正案について
第2号議案	令和3年度収支決算について	第8号議案	公印管理要綱の改正案について
第3号議案	令和4年度事業計画(案)について	第9号議案	謝金支給規程の制定案について
第4号議案	令和4年度収支予算(案)について	第10号議案	研修・広報部会設置規程の制定案について
第5号議案	協議員(副会長)の承認について	第11号議案	保育部会設置規程の制定案について
第6号議案	会則及び役員選出手続要綱の改正案について	第12号議案	調査研究部会運営要領の廃止について

令和4年度 総会時研修

5月26日(木)、鹿児島県社会福祉法人経営者協議会総会の終了後、同ホテルにおいて令和4年度総会時研修をオンライン併用で開催しました。

今年度は、京都府で高齢者支援施設を運営する「社会福祉法人リガーレ暮らしの架け橋」の理事長で、10年前から先駆的に8つの社会福祉法人グループによる法人間連携を進めている「社会福祉法人グループリガーレ」の代表を務める山田 尋志 氏を講師に迎え、令和4年度から施行された「社会福祉連携推進法人制度」への取り組みのポイントについて解説していただきました。

山田理事長は「社会福祉連携推進法人制度」が国において検討されるにあたり、検討委員会の構成員として参画されており、リガーレがどういったきっかけで、どのような取り組みを行い、それがグループに参加する法人にどのような影響をもたらしているのかなど、実践を通して見えるメリットや留意点などについて大変詳しくお話くださり、会場では多くの参加者が山田理事長の話に耳を傾けながら熱心に筆を走らせる様子がお見受けされ、今後の県内における複数法人連携の広がりの可能性が感じられました。

今後も会員法人をはじめ、関係者の皆様にタイムリーかつ的確に有力な情報をお伝えできるよう努めてまいります。



講師：社会福祉法人
リガーレ暮らしの架け橋
理事長 山田 尋志 氏

令和4年度 鹿児島県経営協セミナー（前期）

8月30日（火）、令和4年度 鹿児島県経営協セミナーを新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ソーシャルディスタンスを確保するとともに、マスク着用や手指消毒、検温等の予防策を講じたうえで、鹿児島市内のホテルにおいて原則集合形式（離島法人のみオンライン参加）で開催し、コロナ禍以降、久しぶりとなる集合形式でのセミナー開催となりましたが、多くの方にご来場いただきました。

まず、最初の講義では全国社会福祉法人経営者協議会 制度・政策委員会委員の村木 宏成 氏が、「徹底解説！経営基盤を強くする経営協メソッド」と題して、最近の制度・政策の動向や働き続けたい職場づくりのポイント、連携、多角化・多機能化のノウハウ等について解説されました。

次に全国青年会の取組報告及び入会 PR 動画が上映され、本県の青年経営者部会の瀬戸山豪会長が次代リーダーの育成のための青年会への加入を呼びかけました。

最後に、事務局説明として、全国社会福祉法人経営者協議会事務局である全国社会福祉協議会 法人振興部の宮内 良樹 副部長がコロナワーキングチームによる調査内容を報告するとともに、「年に1回、法人の健康診断を！」と、今回リニューアルされた経営協ドックのデモンストレーションを行うなど会員法人に向けて大変わかりやすい情報発信をいただくとともに、今回参加された会員外法人の方々にも経営協の魅力を十分にお届けできた内容だったと感じております。

新型コロナウイルス感染拡大の第7波のさなかでの開催となり、今回ご参加いただけなかった法人もあられたかと思いますが、今後とも全国経営協と連携しながら、会員法人をはじめ、関係者の皆様にタイムリーかつ的確に有力な情報をお伝えできるよう努めてまいります。



講師：全国社会福祉法人経営者協議会
制度政策委員会 委員 村木 宏成 氏



講師：全国社会福祉協議会
法人振興部 副部長 宮内 良樹 氏



鹿児島県青年経営者部会
会長 瀬戸山 豪 氏

たったの1分でできる！
問診票ができました！！

健全経営のための早期発見・早期対応
経営協ドックお試し版

1分で、できる 問診票 !!



22問に対して「はい」「いいえ」「わからない」のいずれかにチェック
「当面の対応（案）」がひと目でわかります。

1 「さっと回答」

・4項目22の質問に答えるだけ
・「はい」「いいえ」「わからない」のいずれかにチェック

質問項目	はい	いいえ	わからない
1. 経営状況について経営者であるスタッフが十分に把握しているか			
2. 経営者以外に経営者としての役割を担っているスタッフは、経営者としての役割を十分に理解しているか			
3. 経営者以外に経営者としての役割を担っているスタッフは、経営者としての役割を十分に理解しているか			
4. 経営者以外に経営者としての役割を担っているスタッフは、経営者としての役割を十分に理解しているか			
5. 経営者以外に経営者としての役割を担っているスタッフは、経営者としての役割を十分に理解しているか			
6. 経営者以外に経営者としての役割を担っているスタッフは、経営者としての役割を十分に理解しているか			
7. 経営者以外に経営者としての役割を担っているスタッフは、経営者としての役割を十分に理解しているか			
8. 経営者以外に経営者としての役割を担っているスタッフは、経営者としての役割を十分に理解しているか			
9. 経営者以外に経営者としての役割を担っているスタッフは、経営者としての役割を十分に理解しているか			
10. 経営者以外に経営者としての役割を担っているスタッフは、経営者としての役割を十分に理解しているか			
11. 経営者以外に経営者としての役割を担っているスタッフは、経営者としての役割を十分に理解しているか			
12. 経営者以外に経営者としての役割を担っているスタッフは、経営者としての役割を十分に理解しているか			
13. 経営者以外に経営者としての役割を担っているスタッフは、経営者としての役割を十分に理解しているか			
14. 経営者以外に経営者としての役割を担っているスタッフは、経営者としての役割を十分に理解しているか			
15. 経営者以外に経営者としての役割を担っているスタッフは、経営者としての役割を十分に理解しているか			
16. 経営者以外に経営者としての役割を担っているスタッフは、経営者としての役割を十分に理解しているか			
17. 経営者以外に経営者としての役割を担っているスタッフは、経営者としての役割を十分に理解しているか			
18. 経営者以外に経営者としての役割を担っているスタッフは、経営者としての役割を十分に理解しているか			
19. 経営者以外に経営者としての役割を担っているスタッフは、経営者としての役割を十分に理解しているか			
20. 経営者以外に経営者としての役割を担っているスタッフは、経営者としての役割を十分に理解しているか			
21. 経営者以外に経営者としての役割を担っているスタッフは、経営者としての役割を十分に理解しているか			
22. 経営者以外に経営者としての役割を担っているスタッフは、経営者としての役割を十分に理解しているか			

2 「ぱっと診断」

・リーダーチャートと当面の対応が表示

【当面の対応（案）】

1. 経営者以外に経営者としての役割を担っているスタッフは、経営者としての役割を十分に理解しているか

2. 経営者以外に経営者としての役割を担っているスタッフは、経営者としての役割を十分に理解しているか

3. 経営者以外に経営者としての役割を担っているスタッフは、経営者としての役割を十分に理解しているか

4. 経営者以外に経営者としての役割を担っているスタッフは、経営者としての役割を十分に理解しているか

5. 経営者以外に経営者としての役割を担っているスタッフは、経営者としての役割を十分に理解しているか

6. 経営者以外に経営者としての役割を担っているスタッフは、経営者としての役割を十分に理解しているか

7. 経営者以外に経営者としての役割を担っているスタッフは、経営者としての役割を十分に理解しているか

8. 経営者以外に経営者としての役割を担っているスタッフは、経営者としての役割を十分に理解しているか

9. 経営者以外に経営者としての役割を担っているスタッフは、経営者としての役割を十分に理解しているか

10. 経営者以外に経営者としての役割を担っているスタッフは、経営者としての役割を十分に理解しているか

11. 経営者以外に経営者としての役割を担っているスタッフは、経営者としての役割を十分に理解しているか

12. 経営者以外に経営者としての役割を担っているスタッフは、経営者としての役割を十分に理解しているか

13. 経営者以外に経営者としての役割を担っているスタッフは、経営者としての役割を十分に理解しているか

14. 経営者以外に経営者としての役割を担っているスタッフは、経営者としての役割を十分に理解しているか

15. 経営者以外に経営者としての役割を担っているスタッフは、経営者としての役割を十分に理解しているか

16. 経営者以外に経営者としての役割を担っているスタッフは、経営者としての役割を十分に理解しているか

17. 経営者以外に経営者としての役割を担っているスタッフは、経営者としての役割を十分に理解しているか

18. 経営者以外に経営者としての役割を担っているスタッフは、経営者としての役割を十分に理解しているか

19. 経営者以外に経営者としての役割を担っているスタッフは、経営者としての役割を十分に理解しているか

20. 経営者以外に経営者としての役割を担っているスタッフは、経営者としての役割を十分に理解しているか

21. 経営者以外に経営者としての役割を担っているスタッフは、経営者としての役割を十分に理解しているか

22. 経営者以外に経営者としての役割を担っているスタッフは、経営者としての役割を十分に理解しているか

経営協ドックの紹介

※本ツールの利用には会員 ID・パスコードが
必要です。

令和4年度 県政要望にかかる自民党県連との個別意見交換会

令和4年9月12日（月）に自民党鹿児島県支部連合会が主催する県内の各種業界・団体との個別意見交換会が開催され、県経営協から久木元会長、柿添副会長（県老人福祉施設協議会会長）、水流副会長（県知的障害者福祉協会会長）、下園副会長（県保育連合会会長）、県社会就労センター協議会 平田副会長が出席し、各種別協議会から提出された要望内容について出席された県議会議員の方々へ申し入れを行い、意見交換を行いました。

【各種別協議会から提出された要望一覧】

I 「社会福祉法人経営者協議会」

1. 福祉現場におけるICTシステム・AI活用の推進支援について
2. すべての福祉従事者に対する4回目コロナワクチン接種が可能な環境の整備及び市町村自治体への周知徹底について
3. 県内社会福祉施設における新型コロナウイルス感染症クラスター発生時の職員体制の維持を目的とした代替職員雇用への負担軽減支援及び有事における法人間の応援体制構築促進への支援について
4. 物価高騰に伴う社会福祉法人の施設運営への負担軽減にかかる支援について
5. 福祉人材確保及び外国人介護人材確保にかかる取組の継続推進について
6. 鹿児島県災害福祉広域支援ネットワークの取組の促進について
7. 「社会福祉連携推進法人」制度の県内全ての社会福祉法人への周知に向けた取組について



II 「老人福祉施設協議会」

1. 高齢者施設の重点的な検査の徹底について
2. 介護施設の許認可について

III 「知的障害者福祉協会」

1. 新型コロナウイルス感染防止対策の経済的支援について
2. 重度心身障害者医療費助成制度の現物給付化（窓口無料化）について

IV 「保育連合会」

1. 保育士不足・保育の質の向上への対応について
2. 人口減少地区への対応について
3. 新型コロナウイルス感染への対応について

V 「児童養護協議会」

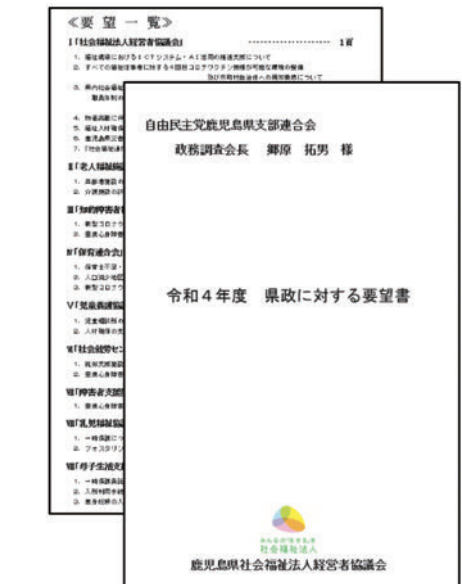
1. 児童相談所の一時保護について
2. 人材確保の支援について

VI 「社会就労センター協議会」

1. 就労支援施設への優先発注の継続並びに民間への取組の拡大について
2. 重度心身障害者医療費助成制度の現物給付化（窓口無料化）について

VII 「障害者支援施設協議会」

1. 重度心身障害者医療費助成制度の現物給付化（窓口無料化）について



VIII 「乳児福祉協議会」

1. 一時保護について
2. フォスタリング機関について

IX 「母子生活支援施設協議会」

1. 一時保護委託の拡大について
2. 入所利用手続きの窓口拡大関係機関の連携について
3. 単身妊婦の入所利用について

学福連携プロジェクト



～連載コーナーの開設にあたって～

Vol.1 『学福連携に期待すること』



学校法人 津曲学園
鹿児島国際大学
学長 大久保 幸夫



みんなの「生きる」を
社会福祉法人

鹿児島県社会福祉法人
経営者協議会
会長 久木元 司



令和3年3月25日、本学は鹿児島県社会福祉法人経営者協議会、公益社団法人鹿児島県社会福祉士会、一般社団法人鹿児島県精神保健福祉士協会の各団体と包括連携協定を締結しました。本協定は、地域社会に対応した保健・医療福祉の一層の向上を図るため、相互の資源を活用し、地域社会の活性化・発展に寄与することを目的としています。

連携協力の一環として令和4年度には福祉3団体による寄付講座を開講、社会福祉学科1年生を対象とした授業「鹿児島社会福祉入門Ⅰ」の3回を使い、各団体から講師をお招きし、現場経験を交えてソーシャルワーカーの働き方について講義していただきました。また、学長講義「地域から世界へ」では、鹿児島県社会福祉法人経営者協議会の久木元司会長にご来学いただき、社会福祉法人の役割や取り組みについて全学の1年生（選択）に向けてご講義いただきました。さらに今年度サテライトキャンパス講座で社会福祉関係の講座を立ち上げる予定です。その際は講師派遣等でご協力をお願い致します。

本学福連携プロジェクトにより、福祉現場でご活躍の専門家の皆様から実践的な知を学ぶ機会が増え、互に協力して優秀な福祉人材を養成し、県内の福祉専門職の増加・向上につながることを期待しております。

近年、国においては2040年問題がクローズアップされ、これから急激な人口減少社会が到来し、生産年齢人口が著しく減少する一方で、高齢者の比率が高まることが予想されています。特に地方においては、人口の減少率が著しいと言われており、今後、社会福祉法人経営における最大の課題は、人口減少とともに働き手がいなくなるということだと言われています。

また、人口が急減する中、社会の活力の維持向上をどのように担保していくかという社会経済の課題もあります。さらには、都市と地方の人口の不均衡、特に地方の人口流出や著しい人口減少は大きな課題となり、地域社会の衰退が進行していくものと考えられています。

そうしたなかで、国は地域共生社会の方向性を示し、地域の中で住民自らが地域福祉の担い手として活動することを期待しています。まさに地域の中でソーシャルワークの中核を担う地域の福祉リーダーの養成が急務となる中、長年にわたり地域の福祉人材を数多く輩出してきた鹿児島国際大学と連携協定を結び、福祉人材の養成やソーシャルワーク実践のすそ野を拡げられることは大変喜ばしいことと考えています。

私ども社会福祉法人経営者協議会としても講師派遣など地域の福祉人材養成に少しでもお役に立ち、さらに共同で地域の活性化に向けた調査研究やソーシャルワーク実践ができればと考えています。

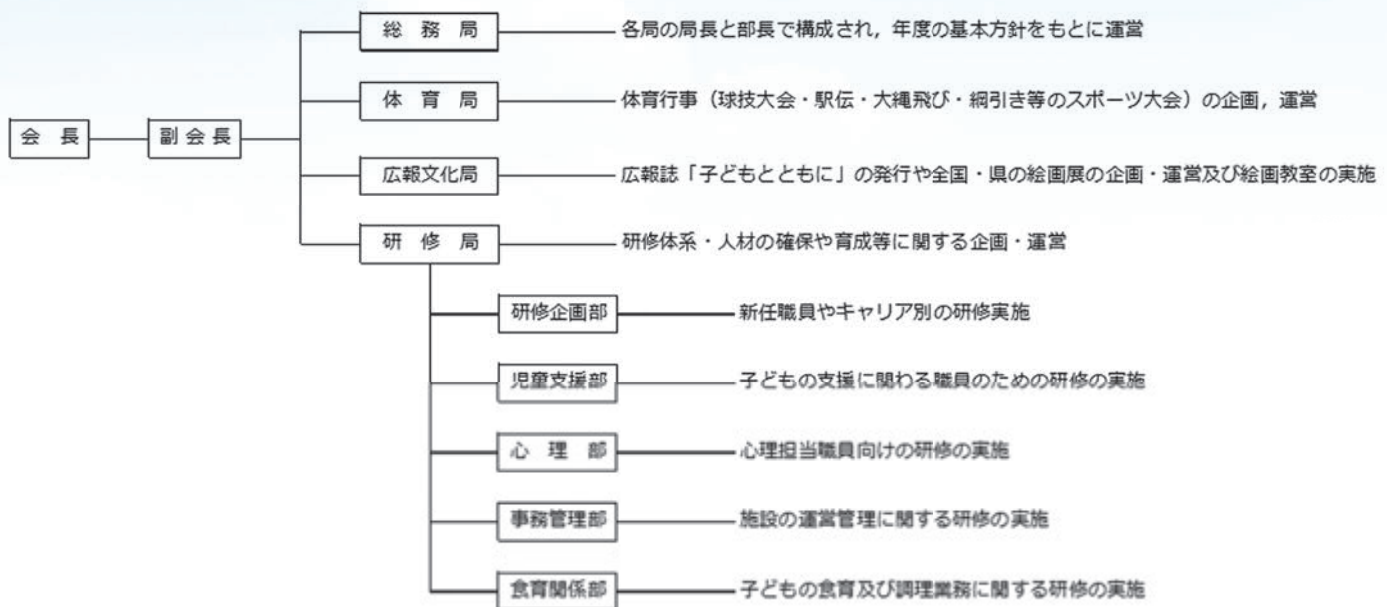
「子どもの育ちを支えるために」

社会福祉法人 向陽会 たらちね学園 施設長
(鹿児島県児童養護協議会 会長) 田中 博文



本県の児童養護協議会（以下、「県児養協」という。）は、児童養護施設14施設と児童心理治療施設及び児童自立支援施設（県立）の16施設で構成されています。児童養護施設には、保護者のない児童や虐待されている児童、その他環境上養護を要する児童が入所しており、全国で604施設、九州には90施設があります。児童心理治療施設は家庭環境、学校における交友関係その他の環境上の理由により社会生活への適応が困難となった児童が入所する施設で、全国に53施設があります。児童自立支援施設は不良行為を行ったり、行う恐れのある児童や家庭環境上の理由により生活指導等を要する児童が入所する施設で全国に58施設があります。現在、県内のこれらの施設では約600名の子どもたちが生活しており、県児養協では子どもたちの心身ともに健やかな成長・発達と自立等を願い、スポーツ活動や文化的活動、そして子どもたちの育ちを日々支える職員のスキルアップなどに取り組んでおり、下記組織図のとおり活動しております。

< 鹿児島県児童養護協議会 組織図 >



* 各局の局員や部員は各施設の代表職員で構成。

今日の家庭や地域において、子育て機能が弱まり、児童相談所における児童虐待相談対応件数も大幅に増加するなど大きな社会問題となっている中で、児童養護施設の機能について考えてみると、子どもたちが抱える問題は「保護」されるだけでは解決せず、子どもたちのより良い成長は、その後に始まる施設での「養育」という営みの継続に委ねられています。多くの子どもたちは、家庭から分離されたことに納得しておらず、施設での生活に馴染めずにいます。そのため、虐待された子どもたちの反応や態度にしばしば戸惑いながらも、社会的養護における「養育」の役割として、暮らしの中で子どもに向き合い、ともに成長しようという大人の存在がまず求められています。近年、社会的養護には、従来の「家庭代替の場」から、「家庭支援（ファミリーソーシャルワーク）の場」への転換、つまり施設内での子どもとの関わりから親子の関係性の視点を考え、調整し、回復させていく機能が求められています。施設と親とが子どもの養育を協働することによって、親が親らしさを取り戻し、親子関係を回復させる過程において、施設にはさらなる専門性が求められていると考えております。

これからも、子どものより良い育ちを支えるために、県児養協としてさらなる活動に力を入れてまいります。

鹿児島県児童養護協議会ホームページ
■公開URL <https://ka-jiyokyo.com>
■問い合わせ先

鹿児島県児童養護協議会
住所：〒890-8517 鹿児島県鹿児島市鴨池新町1-7
TEL：099-256-6789

かごしまおもいやりネットワーク事業に加入しませんか？

県経営協では「地域における公益的な取組」として、平成30年7月に「かごしまおもいやりネットワーク事業」を開始し、5年目に入りました。

現在、110法人（施設経営法人：84法人，社協：26法人）が加入し、制度の狭間で支援を必要とする生活困窮者等へ一時的な食糧や日用品等について現物給付を行っています。

地域で生活する住民の生活上の課題が複雑化・複合化する中で、高齢・障害・児童・生活困窮者支援といった従来の縦割りの制度で対応できないニーズに対して手を差し伸べることができる有用な社会資源として、加入法人からは高い評価を頂いております。

今後、「地域における公益的な取組」を検討される法人におかれましては、ぜひ「かごしまおもいやりネットワーク事業」への加入をご検討いただき、県内全域でのセーフティーネットワークを構築し、一丸となって社会福祉法人の価値を高めていきましょう。

支援の輪が拡大中！

＜令和3年度・令和4年度（上半期）新規加入法人一覧＞

- ・社会福祉法人 錦江町社会福祉協議会【錦江町】（令和3年5月加入）
- ・社会福祉法人 政典会【霧島市】（令和3年6月加入）
- ・社会福祉法人 向陽会【鹿児島市】（令和4年4月加入）
- ・社会福祉法人 志布志市社会福祉協議会【志布志市】（令和4年4月加入）
- ・社会福祉法人 知名町社会福祉協議会【知名町】（令和4年4月加入）
- ・社会福祉法人 南さつま市社会福祉協議会【南さつま市】（令和4年6月加入）
- ・社会福祉法人 日置市社会福祉協議会【日置市】（令和4年9月加入）



ご加入いただきありがとうございました！！

お し ら せ

今後予定している行事は以下のとおりです。※開催時期や会場、開催方法は変更する場合があります。

月	日	会議・行事名	場 所	主な内容等
令和4年11	8	第2回社会福祉法人会計研修	オンライン開催	注意すべき会計実務の仕訳
11	22	第10回鹿児島県社会福祉法人経営者大会	城山ホテル鹿児島	※記念大会として開催予定※
令和5年1	31	第3回社会福祉法人会計研修	オンライン開催	決算時の仕訳等
1	未定	保育部会研修会	オンライン開催	保育分野における制度動向等
1	未定	かごしまおもいやりネットワーク事業 相談員・コミュニティーワーカー研修会	オンライン開催	事務局説明 グループワーク他
2	未定	指導監査等に関する意見交換会	未定	—